学校番号	３１１

令和５年度　理　科

教科	理科	科目	地学	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	地学（数研出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「地学基礎」との関連を図りながら、地球の環境や宇宙の特徴など広範囲に取り扱った授業を行います。
・日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、基本的概念や原理・原則を理解するために観察やICTを多く活用していきます。
・地学に共通する概念や原理・法則を理解できるようにゆっくり授業を行います。また授業内容の理解度を確認するために小テストなども行います。

2　学習の到達目標

地学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	地学的な事物･現象に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとするとともに､科学的態度を身に付けている。	地学的な事物･現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して､事象を科学的に考察し､導き出した考えを的確に表現している。	地学的な事物・現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	地学的な事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートや観察・実験などのレポートの記述 小テスト	学習状況の観察 ノートや観察・実験などのレポートの記述 小テスト 定期考査	学習状況の観察 ノートや観察・実験などのレポートの記述 小テスト 定期考査	学習状況の観察 ノートや観察･実験などのレポートの記述 小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1学期</td><td rowspan="3">地球の大気と海洋</td><td>大気の構造と運動</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td rowspan="3">a: エルニーニョやラニーニャなどに関心や探究心をもち、主体的に探究しようとしている。
b: 地球が自転することによって生じるコリオリの力やそれによって起こる様々な現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを表現している。
c: 大気の運動に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。
d: 海洋と海水に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。</td><td rowspan="3">学習状況
ノート
観察・実験
小テスト
定期考査</td></tr>
<tr><td>海洋と海水の運動</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>大気の海洋と相互作用</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">2学期</td><td rowspan="2">地球の環境と歴史</td><td>地球環境の変遷</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td rowspan="2">a: 地球環境の変遷に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとしている。
b: 地球の物質の循環の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを表現している。
c: 日本列島の地質分布に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。
d: 地球環境の変遷や日本列島の成り立ちに関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。</td><td rowspan="2">学習状況
ノート
観察・実験
小テスト
定期考査</td></tr>
<tr><td>日本列島の成り立ち</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

3学期	宇宙の構造	太陽系			○	○	a: 宇宙の広がりや銀河の種類に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとしている。 b: 恒星の物質や恒星の進化の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを表現している。 c: 金星の見え方や恒星の動きに関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d: 太陽系の惑星に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。	学習状況 ノート 観察・実験 小テスト 定期考査
		恒星の世界		○	○			
		宇宙と銀河	○					

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c: 観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。